

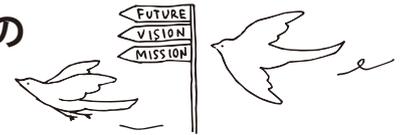
Vol. 88

CONTENTS

- 【コラム】今後の全国高等学校情報教育研究会の役割と使命… 牛来 峯聡
【解説】青森県での教員研修の実施報告… 高木 正則
【解説】中学校でのタブレット活用の実践と学習ログの分析… 村上 正行・飯山 将晃・美濃 導彦

COLUMN

今後の全国高等学校情報教育研究会の 役割と使命



2018年5月17日に未来投資会議が開催され、翌日に「大学入試にプログラミング IT人材育成急ぐ」「大学新テスト プログラミング試験導入 政府検討 情報科目,36年度にも」という新聞記事を通勤電車の中で見かけたとき、夢中でこの記事を読んだことを鮮明に覚えています。このことは、情報教育に長い間携わってこられた多くの関係者の悲願ではないでしょうか。教科「情報」が大学入学共通テストの科目に導入される方向性で検討されていることを歓迎します。

全国高等学校情報教育研究会は、2008年に設立、全国の都道府県等情報教育研究会に呼びかけ研究会同士が連携した団体で、以来10年に渡り、情報に関する発表会や研究協議会を定期的に行い、研究会のネットワークを全国に広げております。情報教育の推進に寄与することを目的に、特に、教科「情報」についての実践や研究の発表を積極的に行い、情報モラル、問題解決学習、プログラミングなど、多くの事例や活動を共有し、情報科教員のスキルアップの一端を担っております。また、各種学会との共催やイベントの後援などを通じ、全国の高等学校情報教育関係者に向け、情報提供や研修機会の提供等も行っております。

このたび、「情報Ⅰ」などが文系・理系を問わず基礎的科目として、共通テストに加わる方針を受け、研究会同士の連携、大会等を通じての実践事例の共有など、教員同士の情報交換の活性化や研修機会の提供を、より一層図っていく予定です。その際、現在行っております情報処理学会との連携による教員研修だけでなく、より専門性の高い「情報Ⅱ」や専門教科情報科の科目を意識した高度な内容、また、情報に関する現在の技術トレンドなど最新の内容が得られる研修の機会や情報提供なども、情報処理学会に期待することができたらありがたいと感じております。

このように、全国高等学校情報教育研究会は、我が国の将来を見据え、関係団体と連携し、研究・研鑽・実践を行い教員の指導力向上を目指すとともに、将来を担う子供たちのために、また、我が国の情報教育の発展のために、より一層尽力していく所存です。

牛来峯聡(東京都立町田高等学校 統括校長/全国高等学校情報教育研究会 会長)